



建築省エネ法の改正

鈴木 彩恵 (札幌支部)

この4月に改正建築物省エネ法が施行され、戸建て住宅の新築において建築士から建築主への説明義務が制度化されました。これを機にまず自宅の評価をしてみようと、少し手を動かしてみました。

私の家は札幌版次世代住宅の補助金制度が始まった年に新築し、ハイレベルの補助金を頂いた住宅です。当時の省エネ指標は熱損失係数で Q_{pex} を入力し計算値を出しました。(Q値=0.61) 自宅設計の後、仕事で戸建住宅に関わることもなく外皮計算からは遠のいていましたので、一念発起、標準計算のモデルを作ろうと今一度、面積を拾い出すところからやってみました。当時難解と思っていた基礎断熱の ψ 値にたどり着くのに、またもやずいぶん時間がかかり、更に一次エネルギー消費量を出すための日射熱取得率は、冷房期と暖房期それぞれの値を算出せねばならないという…それは、相当な作業量でした。(結果はUA値=0.18、一次エネルギー消費量90GJ) 外皮に関しては、熱橋と基礎断熱の入力がQ値の時と違いました。土間下に敷いた断熱材が計算上に現れてこなくて悲しかったです。熱損失係数としては大きく数値を左右していた換気も、一次エネルギー消費量の中に埋もれて見えづらくなっていました。

実際、省エネ基準に適合するには、仕様ルートの部位別熱貫流率基準から床・壁・天井の仕様を決めると、標準計算で入力したときに基準を下回る事は無いのだろうと思います。窓性能も我家の新築当時に比べ格段に良いものがありました。ただ、この断熱仕様は20年前とさほど変わらないと思います。最低レベルと考えて、もう一歩先を提案したいものです。

『写真の整理』

岩崎 美乃 (函館支部)

家族の写真を整理したいと思っていても時間が無い、面倒、アルバムに貼ってある写真ばかりではない等なかなか手掛けることができませんね。さらに親世代の昔の写真も今後のことを考えると自分が整理することになりそう。

そんな誰もががストレスに感じている『写真の整理』について、私の例を紹介しましょう。



①写真の現状

〔整理前の準備〕

「写真をどのように保存するか」を決めます。例えば、部屋に飾るのか、アルバムに収めたりフォトブックを作って時々見るのか、写真を全てデータ化しパソコンやスマホで見るのか？ この「決める事」がとても重要です。私は、家族写真をダイニングカウンターに2~3枚飾り、季節ごとに入れ替えて楽しみ、それ以外はアルバムにまとめておくことにしました。

〔整理のポイント1ー分ける〕

自分と家族の写真を人別に分けます。子供達の写真は結婚式で、自分と夫の写真は葬儀でのビデオ投影の可能性(?)から残す枚数を判断しました。選ぶ基準は写り方の満足度です。良いと思った写真には付箋を貼り透明ファイルに仮置きします。(箱や袋でもOK)



②付箋を貼る

〔整理のポイント2ー選ぶ〕

①飾りたい写真を選びます。12枚程度にしました。②人別に分けた写真を年代別に分け並べます。子ども90枚、夫婦それぞれ30枚、親世代の写真は20枚程度。③選んだ写真をどのように収めるかを考えてアルバムを用意します。



③人別に分ける

〔整理のポイント3ー収める〕

最初は人別に収めようと思いましたが、撮影年ごとに(緩めに)並べることにしました。今後も増えていきますし、気に入った写真はデータではなく、アルバムなどで直ぐに見られるようにしたいので、追加が簡単なようにしました。



④ポケットタイプのアルバムに収める

写真をどのような状態にしておきたいのかを想像するところから始めるのがよさそうです。写真は家族との大切な時間の一瞬を切り取ったものです。整理をしながら家族へ感謝したいと思いました。